

(例) 歴史総合「世界に届け！自慢の逸品」

【使用史料】

- ・〔錦絵〕(□□博覧会恩遊覧之図、第三回内国勸業博覧会)(当館寄託 井上潤三家文書 No.236) …①
- ・褒状(内国勸業博覧会にて新里石)(当館寄託 大島延次郎家文書 No.166) …② ※第一回内国勸業博覧会における褒状
- ・第三回内国勸業博覧会褒状(梨品質形状共ニ佳良ナリ、頗ル嘉ス可シ)(当館寄贈 藤田好三氏収集文書 No.1070) …③
- ・栃木縣全図(当館複製) …④

「栃木縣全図」は、授業開始前に壁に貼っておく。

本時のねらい

- ・内国勸業博覧会の開かれた目的について考察する。
- ・地元の名士が地域の勸業委員となり、政府主導の殖産興業政策と地元の産業を繋げていたことに気付く。

導入：内国勸業博覧会の様子を知る

- ・①〔錦絵〕を見て、気づいたことをワークシートに記入する。



(当館寄託 井上潤三家文書)

文書館職員は、史料を扱う上での注意点(手洗い、マスク、ボールペン・シャープペン使用不可等)を伝える。

生徒のメモ

桜が咲いているから、季節は春。派手な色が多い。
洋装の女性と和装の女性がいる。正装している。明治政府の人のような人がある。日の丸と菊の旗がある。神社の鳥居や提灯がある。

1つのテーブルに広げる

①〔錦絵〕表題「□□博覧会御遊覧之図」「第三回内国勸業博覧会」「楊高延一筆」「明治廿三年二月 日印刷、同年同月出版、下谷区スキヤ町十五番地、印刷兼発行者勝木吉勝」の表記あり。絵を見た感想を素直に書かせる。

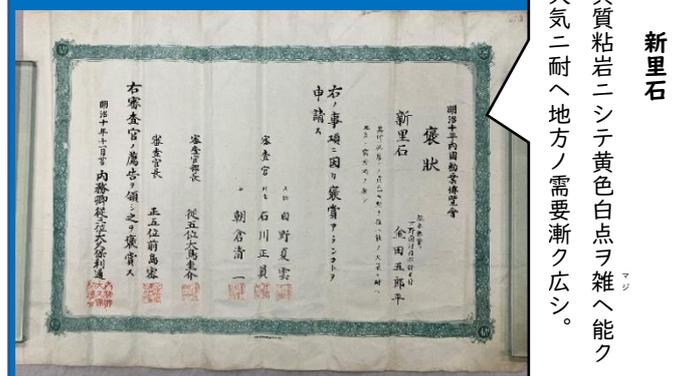
展開Ⅰ：何の「褒状」なのか、考える

- ・グループごとに史料を見て、わかったことをワークシートに書き込む。

グループⅠ：②新里石の褒状

- ・新里石の特徴を史料から読み取る。
- ・④地図から、「新里」がどこか探す。

②1つの机に広げる



(当館寄託 大島延次郎家文書)

生徒の声 ※大久保利通って書いてある。大きい賞状だ。ふちどりが、お金の印刷みたい。「新里」と「大谷」が近いから、大谷石のこと？

※「内務卿とは、どのような役職だったのか」と投げかけ、タブレットで調べるよう促す。

グループⅡ：③梨の褒状

- ・どここの地域で採れた産物か、読み取る。
- ・④地図から、「上三川」がどこか探す。



(当館寄贈 藤田好三氏収集文書)

生徒の声 梨の品質や形に対する賞状だ。
※真ん中の穴はなに？間違っって破れたのかな？

※紙の好きな虫がいて、食べられたあとと伝えと、驚いていた。

展開2：誰が受け取った「褒状」なのか、考える

- ・授業者：褒状を受け取ったのは誰ですか？
生徒：②「金田五郎平」③「猪瀬大三郎」
授業者：この2人はどのような立場の人だったのでしょうか？
- ・文書館職員から、褒状は地元の名士（もと名主である場合が多い）に宛てたものという説明を受ける。
- ・名主とはどのような立場の人が、タブレットを用いて調べる。

授業者は、史料の内容を基に問いかける。

授業者は、生徒が相互に気づきの共有ができるよう、促す。

- ・地元の名士が地域の勸業委員となり、政府主導の殖産興業政策と地元の産業を繋げていたことに気付く。

※「内務卿」が地域の名士に褒状を送ったのはどのような意図があったのだろうか。内務卿、名主、それぞれの立場や役割を踏まえて考えてみよう」など、生徒の考察が深まるような投げかけをする。

まとめ：内国勸業博覧会が開かれた目的はなんだろう。

- ・内国勸業博覧会の開かれた目的について考察する。

生徒の記述：

ゴロベ^{はな}はんは名主。政府だけでなく名主であるゴ
ロベ^{はな}はんも近代化に協力した。大谷石をエネルギー
に近代化を進めた

大久保利通がわたした。農家・名主 五郎平
地域の人々が近代化を進めた

授業を受けた生徒の感想

名主が地元の特産品を国の展覧会に出品して、それが褒められたのはすごい。

有名人から栃木の人に褒状が届いたのはすごい。

参考：④栃木縣全図

